

# 平成19年度一般会計決算概要

## 327億2,674万6千円の使いみち

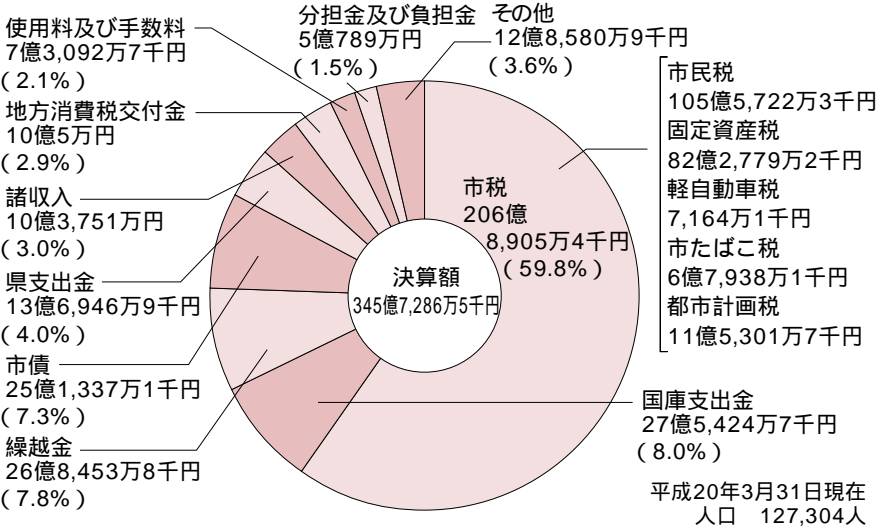
平成19年度一般会計の歳入の決算額は、345億7,286万5千円で、18年度比13億7,533万4千円（3.8%）の減となりました。この主な要因は、市債と地方譲与税などが減少したことによります。

歳出の決算額は、327億2,674万6千円で、18年度比5億3,691万6千円（1.6%）の減となりました。この主な要因は、朝霞駅南口地下自転車駐車場の建設や（仮称）根岸台八丁目公園用地の購入が18年度で終了したことなどによります。

問い合わせ / 財政課 内線2323  
☎048 463 3179（直通）



### 歳入の状況



### 歳入の主な状況

市税の決算額は、206億8千905万4千円で、18年度に比べ14億9千720万4千円（7.8%）の増となりました。これは、税制改正により個人市民税が増加したことなどによります。

市税の決算額は、206億8千905万4千円で、18年度に比べ14億9千720万4千円（7.8%）の増となりました。これは、税制改正により個人市民税が増加したことなどによります。

市民1人当たりの市税負担額					162,517円
市民税	固定資産税	軽自動車税	市たばこ税	都市計画税	
82,929円	64,631円	563円	5,337円	9,057円	

### 歳出の主な状況

民生費の決算額は、115億9千825万8千円で、18年度に比べ6億8千106万2千円（6.2%）の増となりました。これは、国民健康保険特別会計などへの繰出金が増えたことや児童手当の給付金額が拡大したことなどによります。

歳入の減少などによります。諸収入の決算額は、10億3千751万円で、18年度に比べ6千131万5千円（5.6%）の減となりました。これは、保育園受託事業収入の減少などによります。

市債の決算額は、25億1千337万1千円で、18年度に比べ13億9千502万9千円（35.7%）の減となりました。これは、朝霞駅南口地下自転車駐車場の建設が18年度に終了したことなどによります。

# 歳出のうち、第4次総合振興計画基本構想にかかわる主なもの (1万円未満切り捨て)

## 【自然と調和したゆとりある都市づくり】

朝霞駅北口周辺地区整備事業	5億7,139万円
朝霞駅南口駅前広場等整備事業	8億2,077万円
花と緑のまちづくり事業	4,023万円
土地区画整理組合補助金(根岸台五丁目土地区画整理組合)	2億4,470万円
道路新設改良事業(改良工事9路線、舗装工事2路線、用地取得)	3億1,465万円
街路事業(緑ヶ丘通線、観音通線、駅西口富士見通線、岡通線の整備)	2,845万円
泉橋耐震補強工事	333万円
花の木橋耐震補強工事	1,455万円
内間木橋落橋防止対策設計	294万円
生け垣設置奨励補助金	48万円
緑地用地の購入(代官水緑地用地、(仮称)根岸台八丁目緑地用地)	4億3,267万円
公園の整備((仮称)浜崎四丁目公園、(仮称)三原一丁目公園、(仮称)宮戸四丁目公園、(仮称)根岸台七丁目公園、(仮称)根岸台八丁目公園)	1億1,186万円

## 【安全で快適な生活環境づくり】

防災対策事業(洪水ハザードマップの策定、防災行政無線整備など)	2,681万円
水質調査、大気調査	2,092万円
ダイオキシン類環境調査	677万円
粗大ごみ処理券の販売	27万円
防犯対策の強化(防犯街頭キャンペーン、防犯パトロールの推進など)	2,456万円
路上喫煙監視パトロールの充実・強化	372万円
生ごみ処理機器購入費補助	89万円
地域リサイクル活動推進補助	2,950万円
放置自転車対策の充実・強化	3,658万円

## 【みんなで支え合う健やかな社会づくり】

次世代育成支援地域行動計画の推進(仮称)仲町保育園建設事業(工事)	22万円
埼玉県後期高齢者医療広域連合負担事業	3億3,157万円
高齢者保健福祉計画の策定	3,587万円
地域包括支援センター業務の拡充	418万円
障害者自立支援制度の実施	5,599万円
自動体外式除細動器(AED)の全施設への設置	6億4,499万円
400万円	

## 【豊かな心と人間性を育む人づくり】

小学校低学年複数担任制の導入	2,530万円
国際理解教育の充実	3,307万円
さわやか相談員の配置(各中学校)	813万円
小・中学校の施設改修工事(二小・二中の壁面緑化など)	2億4,683万円
小学校の校舎増築工事(八小)	5,024万円
耐震補強設計の実施(三小・六小・七小・八小・三中・四中の体育館)	1,378万円
耐震補強工事(一小・二小・五中の体育館、三中・四中の校舎)	2億7,100万円
第四小学校改築事業(工事)	1億6,124万円
第五小学校改築事業(地質調査、設計)	3,263万円
あさか・パートナーシップ・カレッジ事業	347万円
放課後子ども教室の実施	49万円
湧水「代官水」の保存整備	367万円
旧高橋家住宅保存整備事業(主屋保存修理、外構等整備)	1億9,059万円
総合体育館施設改修工事(空気調和設備、壁面緑化)	467万円

## 【まちの活力を生み出す産業づくり】

「朝霞ブランド」の推進	181万円
市民農園事業	1,140万円
中小企業融資支援事業	5,300万円
商工業振興支援事業	2,122万円
個人住宅リフォーム資金補助事業	863万円
起業家育成支援センターの開設	183万円

## 【ふれあいと連帯を広げる地域づくり】

(仮称)膝折市民センター等建設事業	1,594万円
町内会、自治会等への補助	1,341万円
市民まつりへの助成	2,100万円
市民活動支援ステーションの開所	621万円
男女平等推進行動計画に基づく諸施策の推進	118万円

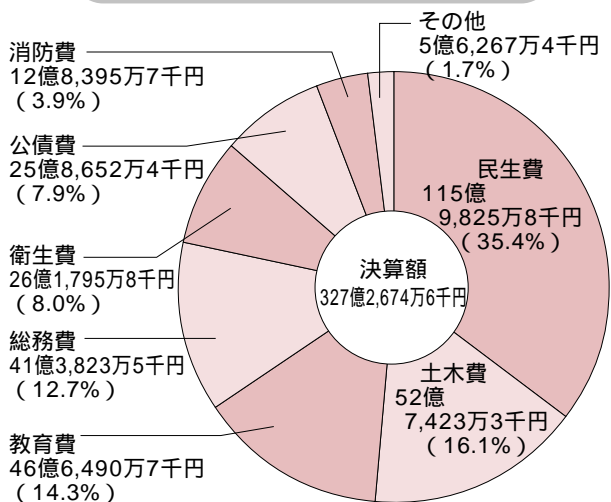
## 【給付事業の引き上げなど】

駐車場防犯照明設備設置補助金の創設	40万円
鳴子踊り参加促進支援事業補助金の充実	110万円
心身障害者地域ケア事業費補助金の充実	6,999万円
児童手当の給付金額の拡大	9億1,256万円
児童扶養手当給付の拡大	2億7,009万円
TMO運営費補助金の充実	40万円

などにより、教育費の決算額は、46億6千490万7千円で、18年度に比べ4千720万1千円(1.0%)の減となりました。これは、自然の家の施設改修に係る工費が減少したことなどにより、総務費の決算額は、41億3千823万5千円で、18年度に比べ591万7千円(0.1%)の増となりました。これは、県議会議員選挙の執行に伴う増加などにより、衛生費の決算額は、26億1千795万8千円で、18年度に比べ6億2千275万2千円(19.2%)の減となりました。これは、健康増

進センター駐車場の購入や(仮称)朝霞駅南口原動機付自転車駐車の建設が18年度に終了したことなどにより、公債費の決算額は、25億8千652万4千円、18年度に比べ2億7千571万6千円(11.9%)の増となりました。

## 歳出の状況



市民1人当たりに使われたお金 257,076円

民生費	土木費	教育費	総務費	衛生費	公債費	消防費	その他
91,107円	41,430円	36,644円	32,507円	20,564円	20,318円	10,086円	4,420円

## 特別会計決算額

会計名	歳入決算額	対前年比%	歳出決算額	対前年比%
国民健康保険	108億9,316万1千円	113.1	105億3,115万4千円	110.6
下水道事業	18億7,726万6千円	101.8	17億8,679万4千円	102.7
老人保健	60億5,641万4千円	101.0	58億7,155万5千円	99.4
広沢土地区画整理事業	1億2,657万6千円	21.9	1億2,657万6千円	21.9
介護保険	37億7,399万8千円	114.0	34億6,657万5千円	118.4

パーセント表記のものについては、小数点以下第2位を四捨五入しています。

# 市民サービスの経費はどれくらい？

## いくつか例を挙げてみました



**小学生**  
1人当たり1年間  
10万4,112円

小学校費（学校建設費を除く）の決算額（7億7,959万2千円）を学校基本調査人数（7,488人）で割りました。



**保育園児**  
1人当たり1年間  
127万4,128円

保育園の運営経費（13億2,509万3千円）を年間延べ入園児童者数（1万2,480人）で割り、その額をもとに年間の経費を計算しました。

保育士の人件費が含まれているため、小・中学生1人当たり1年間にかかる経費よりも金額が大きくなっています（小・中学校の先生にかかる人件費は県が負担しています）。



**中学生**  
1人当たり1年間  
20万6,564円

中学校費の決算額（6億3,766万4千円）を学校基本調査人数（3,087人）で割りました。



**放置自転車撤去**  
1台当たり  
1万950円

放置自転車撤去費用（3,658万4千円）を年間撤去台数（3,341台）で割りました。



**児童生徒の学校給食**  
1人当たり1年間  
9万3,081円

学校給食費の決算額（9億8,432万7千円）を学校給食基本調査人数（10,575人）で割りました。



**ごみ処理**  
1人当たり  
1万327円

じんがい塵芥処理費の決算額（13億1,466万4千円）を人口（12万7,304人）で割りました。



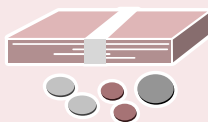
**図書館図書購入**  
1人当たり1年間  
314円

図書館図書購入の決算額（4,002万6千円）を人口（12万7,304人）で割りました。



**道路改良**  
1メートル当たり  
13万8,290円

道路改良の経費（6,477万5千円）を整備延長（468.4m）で割りました。



**公債費**  
1人当たり  
2万7,248円

公債費（水道事業以外の特別会計を含む）の決算額（34億6,879万4千円）を人口（12万7,304人）で割りました。



**歩道整備**  
1メートル当たり  
50万9,641円

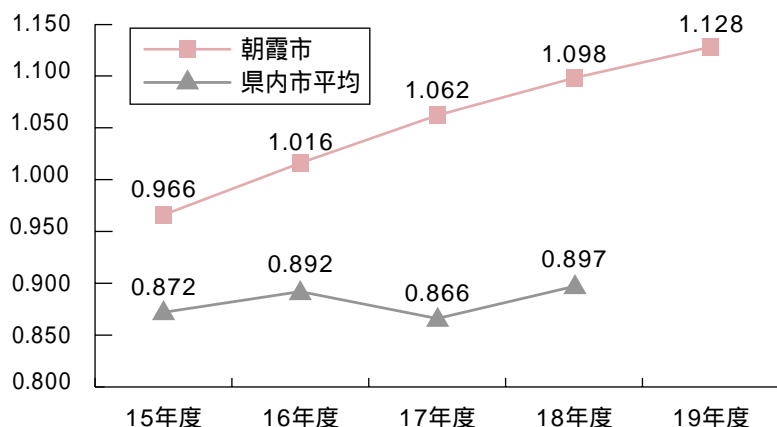
歩道整備の経費（1億2,078万5千円）を整備延長（237.0m）で割りました。

公債費とは、借入金の返済経費をいいます。

# 平成19年度 決算に基づく指標

## 財政力指数

1.128

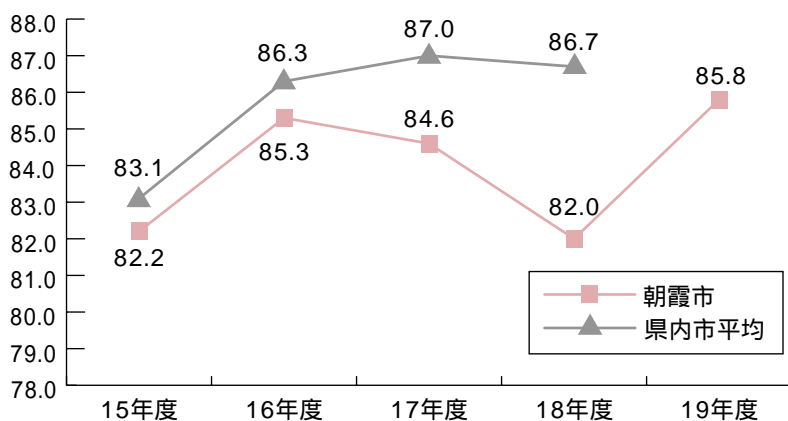


財政力指数は、標準的な行政活動を行うのにどれだけ自力で財源を調達できるかを表した指標です。

〔参考〕平成18年度は、財政力指数の高い順（良い方）からみて、朝霞市は県内40市中4番目でした。

## 経常収支比率

85.8%



経常収支比率は、財政構造の弾力性を判断するための比率で、人件費や扶助費（社会福祉のために支出されるお金）などの経常的な経費に、地方税などの経常的一般財源がどの程度充当されているかをみる指標です。

〔参考〕平成18年度は、経常収支比率の低い順（良い方）からみて、朝霞市は県内40市中4番目でした。

## 健全化判断比率

### 実質赤字比率「 - 」(12.28%)

実質赤字比率は、一般会計等を対象とした実質赤字額の標準財政規模（一般財源の標準規模）に対する比率です。

### 連結実質赤字比率「 - 」(17.28%)

連結実質赤字比率は、全会計を対象とした実質赤字額（又は資金不足額）の標準財政規模に対する比率です。

### 実質公債費比率 4.2% (25.0%)

実質公債費比率は、一般会計等が負担する地方債の償還金等の標準財政規模に対する比率です。

### 将来負担比率 51.0% (350.0%)

将来負担比率は、一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率です。

健全化判断比率とは、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、地方財政の早期の健全化を図るために定められたあらたな指標です。

〔参考〕( )内の数値は朝霞市の早期健全化基準を表しています。また、実質赤字比率、連結実質赤字比率については、赤字額がないため「 - 」と表記しています。

